
看護方法論Ⅱ（看護過程）

岩根 直美 准教授

坂本 由希子 准教授

野々口 陽子 助教

米島 望 助教

2年次前期・必修**2単位・60時間**

【概要・目的】

本科目は、対象の看護上の問題を査定し、問題を解決していく方法論の一つである看護過程について学ぶ。看護過程の展開に必要な基礎的な理論を学習し、さまざまな事例をもちいて演習を行い、問題解決への方法と実践力を習得する。また、症状をもつ患者に対する看護過程の展開とその解決に向けた具体的介入方法を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 看護過程に必要な考え方と構成要素が説明できる。
 - 2) 看護過程に活用されている看護理論が説明できる。
 - 3) 看護過程の理論を活かして事例を展開することができる。
 - 4) 症状をもつ患者の特徴を理解し看護介入に必要な基礎的な看護技術ができる。
 - 5) 看護記録と情報管理について必要な知識・技術・態度が説明できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 看護過程の概要と構成要素
 - 2) ～5) 看護アセスメントと看護問題の明確化
 - 6) ～7) 対象患者の全体像
 - 8) ～9) 看護問題の整理と看護診断
 - 10) ～11) 看護計画の立案
 - 12) 看護の実施と評価
 - 13) ～16) 事例患者の看護過程
 - 17) ～30) 症状をもつ患者に対する看護問題と解決方法
 - ・講義：呼吸困難、嚥下障害、便秘・下痢、発熱、褥瘡、包帯法
 - ・演習：吸引、吸入、経管栄養、浣腸
-

【評価】

筆記試験（50%）、レポート（30%）出席状況および参加態度など（20%）

【教科書】

深井喜代子編集：新体系看護学全書 基礎看護学② 「基礎看護技術Ⅰ」改訂版第6版 メヂカルフレンド社

矢田昭子、秦美恵子編集：基準看護計画「臨床でよく出合う看護診断と潜在的合併症」改訂版第3版 照林社

高木永子監修：看護過程に沿った対症看護「病態生理と看護のポイント」改訂版第5版 学研メディカル秀潤社

【推薦参考図書】

必要であれば講義の中で提示する。

【その他】